年間授業計画

高等学校 令和５年度　　教科　　情報　　科目 情報Ⅰ

教　科： 情報　　科　目： 情報Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 3 組～　　組

教科担当者：（ １組：　　）（２組：　　）（３組：　　）（４組：　　）（５組：　　）（６組：　　）

使用教科書：（ 最新情報Ⅰ　　）

教科 情報　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】情報化社会と人間とのかかわりについて理解している。

【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に情報技術をに効果的に用いている。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に情報技術を活用し自ら改善しようとしている。

科目 情報Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	情報社会の現状について理解する。 知的財産権について理解する。 タッチタイピングを習得する。 文書作成ソフトの諸機能を学習する。	・オリエンテーション ・情報社会 ・情報社会の法規と権利(1)(2) ・情報技術が築く新しい社会 ・Word2019について ・文字の入力 ・文書の作成 ・文字の修飾	【知識・技能】 ・作成したファイルを保存したり、読み込んだりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・情報の特性によって生じる事例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報活用を改善方法しようとしている。	○	○	○	10
	コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 タッチタイピングを習得する。 文書作成ソフトの諸機能を学習する。	・メディアとコミュニケーション(1)(2) ・情報デザイン ・情報システムの構成(1)(2) ・表を活用した文書作成(1)(2) ・表の編集(1)(2) ・画像や図形を活用した文書の作成(1)	【知識・技能】 ・メディアの機能について説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報伝達を促進するための情報デザインの工夫について、提案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報活用を改善方法しようとしている。	○	○	○	10
2学期	コンピュータの構成と動作の仕組みについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。 画像や図形を活用した文書の作成ができる。	・情報のデジタル化(1)(2)(3) ・画像や図形を活用した文書の作成(2)(3) ・Excel2019について	【知識・技能】 ・ソフトウェアの種類とその働きを説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報活用を改善方法しようとしている。	○	○	○	6
	音声をデジタルで表現する方法について理解する。 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 VLOOKUP関数について理解する。 フィルター機能について理解する KJ法について理解する。	・情報のデジタル化(4)(5) ・情報通信ネットワーク(1)(2)(3) ・情報セキュリティ(1)(2) ・問題解決 ・データ入力の基礎 ・関数を使った計算式 ・小数点とセルの参照 ・検索関数の利用	【知識・技能】 ・WebサーバのIPアドレスを調べることができる。 【思考・判断・表現】 ・情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報活用を改善方法しようとしている。	○	○	○	16
3学期	モンテカルロ法について理解する。 プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 プレゼンテーション作成ソフトの諸機能について理解し、課題を作成できる。	・シミュレーション ・プログラミングの方法 ・プログラミングの実践(1)(2)(3)(4) ・PowerPoint2019について ・文字修飾と図形の活用 ・グラフの活用 ・課題作成(1)(2)(3)	【知識・技能】 ・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明することができる。 【思考・判断・表現】 ・モンテカルロ法のシミュレーションの過程をグラフで表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	○	○	○	12
	プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 プレゼンテーション作成ソフトの諸機能について理解し、課題を作成できる。	・プログラミングの実践(5) プレゼンテーション作成ソフトの応用	【知識・技能】 ・アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）について説明することができる 【思考・判断・表現】 ・関数を活用したプログラムを設計し、効率的なプログラムを作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考え、粘り強く試行錯誤しながらプログラムを作成することができる。	○	○	○	16 合計 70